

歴史ウォークを楽しむ旅

ツアーコード B-605

世界遺産「石見銀山」

大森地区・銀山地区と 銀山街道トレッキング 3日間

島根

歩行レベル★



お1名様
歓迎

5名様
より出発

歴史
ウォーク

■出発日と旅行代金(おとなお一人様)

出発日 2024年	3月27日(水)、5月20日(月)	
	2~3名様1室	1名様1室
旅行代金	145,000円	155,000円

■食事/朝食2回・昼食3回・夕食2回

■宿泊先/(1・2泊目/三瓶山温泉)さひめ野(和室・バスなし)

■添乗員/同行します ■最少催行人員/5名

■利用バス会社/つばめ交通、広交観光、広交タクシー、広島第一交通

日程	スケジュール [バスガイドは同行しません] (** JR =バス ...徒歩)	食事
1	博多駅[9:00]→小倉駅→広島駅=代官所前広場→城上神社→石見銀山史料館→勝源寺→熊谷家住宅→井戸神社→旧河島家住宅→栄泉時→羅漢寺→五百羅漢→銀山公園=三瓶山温泉(泊)	☐昼☒夕
2	ホテル=温泉津散策→沖泊→松山の道標→西田集落→降路坂→龍源寺間歩→清水寺→清水谷製錬所→銀山公園=三瓶山温泉(泊)	朝☒昼☒夕
3	ホテル=原田駐車場→大久保間歩→釜屋間歩→謎の岩盤遺構→石銀集落→佐毘売山神社→銀山公園→広島駅→小倉駅→博多駅[20:00]	朝☒昼☐

※本ツアーは、日常的に登山や山歩き等の運動をされている方が対象です。スニーカー等ではなくトレッキングシューズでご参加ください。

地元ガイドの説明を聞きながら歩きます。

世界遺産「石見銀山」 / 1526年に発見され、江戸時代から明治にかけて世界一の銀山として栄えました。石見銀山遺跡の特徴として、鉱山町として繁栄した町並みや、戦国時代の銀山争奪の舞台となった山城、銀の輸送や積み出しに使った街道・港と、間歩と呼ばれた銀の採掘跡など戦国時代から明治・大正期の近代遺跡など、銀にかかわる複合的な史跡が、豊かな森林の中に自然と一体となった景観を残していることです。

今回のツアーでは、その町並の景観と、かつての鉱山地区、銀を運んだ古の街道を歩き、石見銀山をより深く学んでいただけます。



大森の町並(イメージ)



羅漢寺(イメージ)

1日目 大森の町並から羅漢寺まで歩く【所要時間約2.5時間/歩行距離約3km】
江戸時代の風情が色濃く残る、石見銀山の鉱山町・大森地区を散策。石見銀山領150余村を支配した大森代官所跡や、武家や商家が混在した町並と銀山資料を見学します。その後、銀山で亡くなった人々を供養した五百羅漢へご案内します。

2日目 銀山街道を歩く～温泉津沖泊道

【所要時間約4時間/歩行距離約6km】

毛利元就が整備したと伝えられる、石見銀山から日本海の積出港・沖泊までの銀を運んだ古の街道を歩きます。途中、江戸時代に開発された龍源寺間歩の坑道内を見学し、明治初期の産業遺跡清水谷製錬所へもご案内します。石見銀山の外港として栄えた世界遺産「温泉津」の町並も散策。



温泉津沖泊道(イメージ)

3日目 石見銀山の始まりを歩く
～大久保間歩から石銀集落へ

【所要時間約8時間/歩行距離約5km】

石見銀山で最大規模の坑道大久保間歩や“謎”の岩盤遺構、石見銀山発祥の地石銀集落跡など貴重な鉱山遺跡をめぐります。



龍源寺間歩(イメージ)